

## 【研究課題名】

10-20mm の大腸鋸歯状病変に対するコールドスネアポリペクトミーの有用性を検証する非盲検化ランダム化比較試験

## 【臨床研究実施計画番号】

### 1. 研究の対象

20歳以上の方で、大腸内視鏡検査を受けて10—20mmまでの「大腸鋸歯状病変」と呼ばれるポリープを有することが判明した方。

### 2. 研究の概要・特色

10—20mmの大腸鋸歯状病変を有する方を

- ① 通電切除方法(これまでの切除方法)
- ② 非通電切除方法（コールドポリペクトミー、新しい切除方法）

のどちらの切除方法で切除するかをランダムに振り分け、②の方法が①に比べて劣っていないことを検証します。上記の2つのグループのうち、どちらのグループに割り当てられるかはコンピュータによって決められます。この臨床試験では患者さんや医師が治療方法を選ぶことはできません。

### 3. 研究責任医師

診療科：消化器内科

氏名：小西 潤